

令和6年度 「イノベーションmiyaユース会議事業」 フィードバック資料

宇都宮市

目次

■事業概要	3
■子どもたちからの意見	8
■いただいた意見の活用	13
■最後に	20

The background features a vibrant, abstract design with overlapping organic shapes in shades of pink, orange, and green. These shapes are decorated with various patterns, including diagonal stripes, polka dots, and clusters of teardrop-like motifs. A central orange ribbon banner with a 3D effect holds the title text.

事業概要

宇都宮市はみなさんから 次の方法で意見を聞きました！

- ① WEBアンケート調査
- ② 直接の意見聴取
- ③ イノベーションmiyaユース会議

① WEBアンケート調査 ～調査概要～

テーマ	理想の地域や社会
アンケート方法	WEBアンケート
アンケート期間	令和6年5月31日(金)～令和6年6月30日(日)
調査対象者	小学校5年生から大学生, その他の22歳以下の県内在住者, 在学者
回答数	1852件 (小学生 485件, 中学生 643件, 高校生 672件, 大学生等 52件)

宇都宮市に
住む・通学する
子ども・若者の
みなさんへ

みんなのことを教えて！／
宇都宮市
子ども・若者アンケート

「理想の地域や社会」をメインテーマにアンケートを行います。自分らしく、成長できるまち「宇都宮」を実現するため、皆さんの意見や考えを聞かせてください。

アンケート回答期間
5月31日(金)～6月30日(日)

対象者
宇都宮市に在住・通学している小学5年生から大学生相当(22歳未満)までの方

回答方法
タブレット・スマートフォンなどで、下記の二次元コードから回答フォームにアクセスしてください。

このアンケートは誰が答えたかわからないようになっています。正確な意見を聞かせてください。

お問い合わせ先
宇都宮市子ども政策課 宇都宮市旭1-1-5
☎028-632-2694 (平日8:30～17:15)
メール: u1806@city.utsunomiya.tochigi.lip

② 直接の意見聴取 ～調査概要～

テーマ

理想の地域や社会

アンケート方法

対面ヒアリング
紙アンケート・WEBアンケート

アンケート期間

令和6年6月

調査対象者

多様な環境下にある，小学校5年生から大学生，
その他の22歳以下の県内在住者，在学者

回答数

261件



③ イノベーションmiyaユース会議 ～会議概要～

テーマ

理想の宇都宮市

内容

「理想に近づけるためにどのような取り組みがあると良いか」「自分自身はどのように取り組めば良いか」について具体的な提案を考え、発表する。

日時

令和6年7月27日(土)10:00～12:00
8月 4日(日)10:00～16:00(全2日間)

場所

宇都宮市役所 大会議室

対象者

市内に在住又は通学する、小学校5年生から大学生相当(22歳未満)の参加希望者

回答数

19名(小学生 9名, 中学生 7名,
高校生 2名, 大学生 1名)





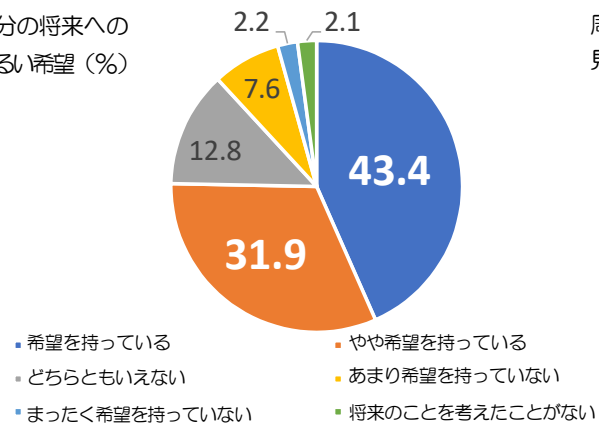
子どもたちからの意見

WEBアンケート調査

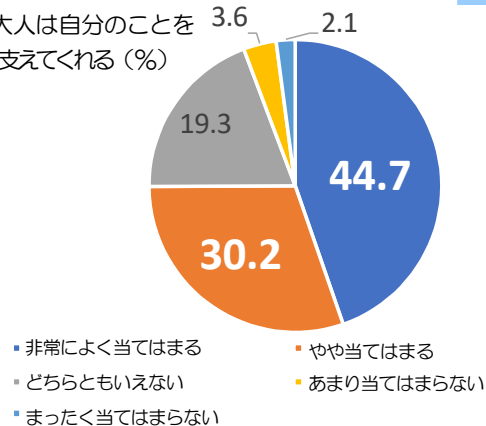
<主なもの>

- 自分の将来に明るい希望を持っている子どもの割合は**75.3%**
- 周りの大人に見守り・支えられていると感じる子どもの割合は**74.9%**
- 周りの大人に意見を伝えられている子どもの割合は**69.2%**
- 結婚をしたくない子どもの割合は、約**15%**
- 将来の宇都宮の理想像は「安全」で「自然豊か」で「働きやすい」まち
- 理想のまちに近づくための自らの関わり方では「ボランティア活動を通して貢献」が最多

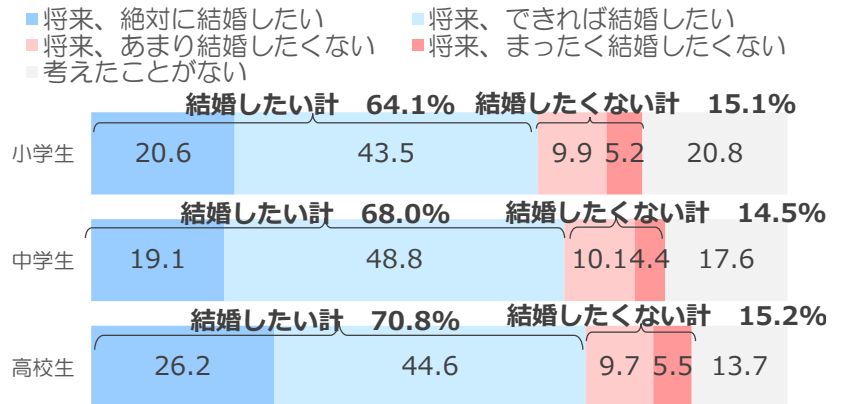
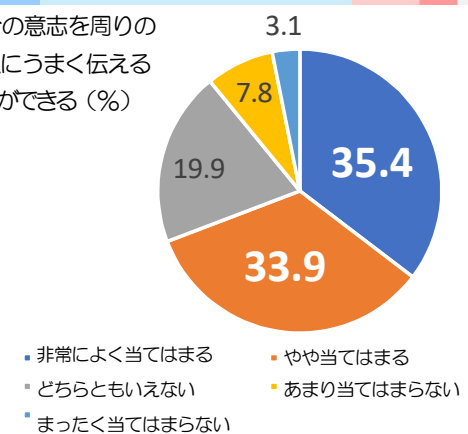
自分の将来への
明るい希望 (%)



周りの大人は自分のことを
見守り、支えてくれる (%)



自分の意志を周りの
大人にうまく伝える
ことができる (%)

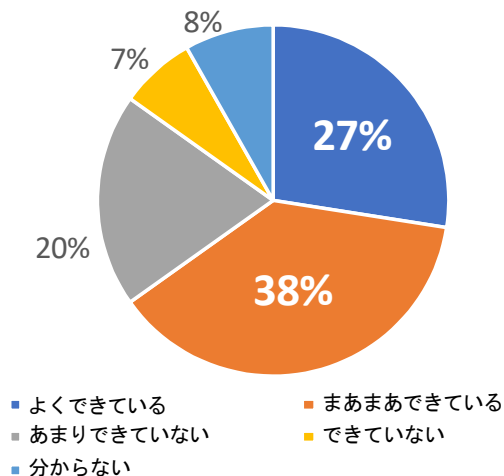


直接の意見聴取

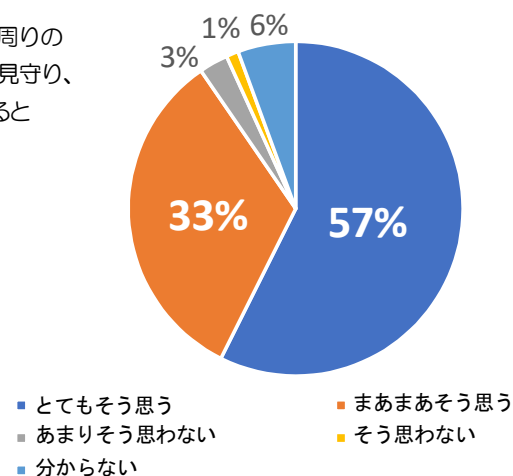
<主なもの>

- 周りの大人に見守り、支えられていると感じている」子ども・若者が約9割いる一方で、「周りの大人に自分の気持ちや考えを伝えることはできている」と回答した子ども・若者は6割にとどまる
- 意見を聴かれることについては半数以上が「前向き」に捉えている
- 日常生活の中で「もっとこんなことがあったらいいな」、「こうなったらいいな」と思うことについての主な回答は「交通」に関することが最多
(渋滞の解消、LRT路線充実、電車やバスの本数充実、通学路や自転車専用道の整備など)
- 障がい者でも遊べる施設がほしい

ふだんの生活の中で
周りの大人に自分の気
持ちや考えを伝えるこ
とはできていますか？



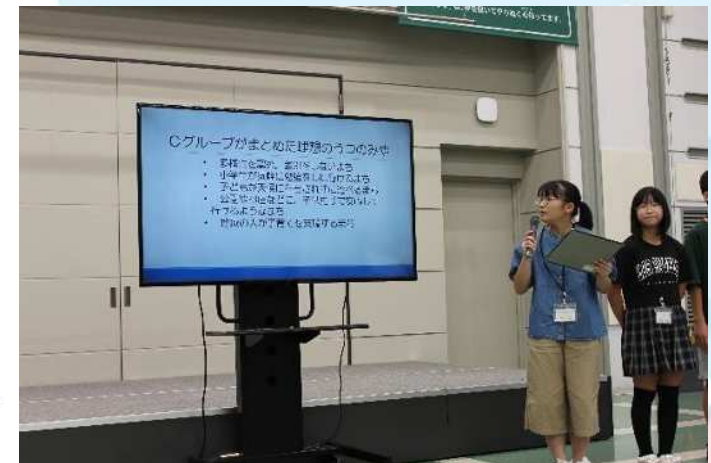
ふだんの生活で周りの
大人はあなたを見守り、
支えてくれていると
思いますか？



イノベーションmiyaユース会議

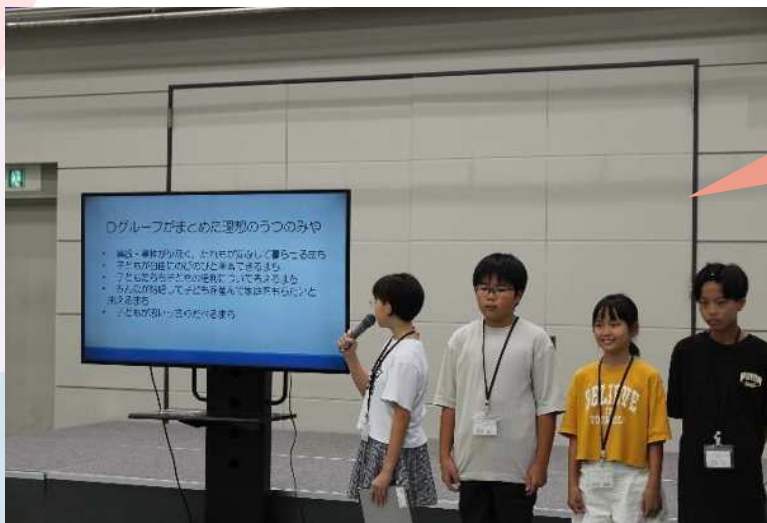
子どもの権利

- 多様性を認め、差別をしないまち
- 子どもたちも子どもの権利について考えるまち



健全育成（遊び・学び）

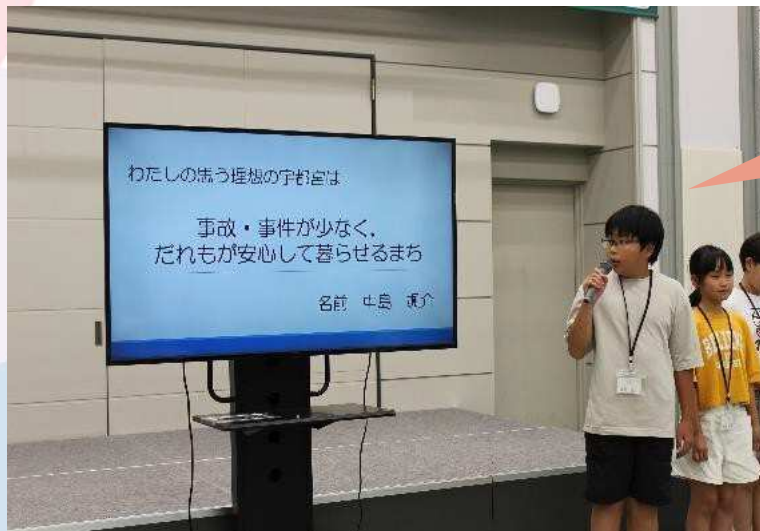
- 子どもが天候に左右されずに遊べるまち
- 子どもが思いっきり遊べるまち
- 子どもたちがいきいきと過ごせるまち
- 小学生が気軽に勉強や自習をしに行けるまち
- 子どもが自由にのびのびと学習できるまち
- 学生と社会人の繋がりが広がっていくまち
- グローバルな最先端技術産業のあるまち
- すべての子どもが自分らしくいられる支援を受けられるまち



イノベーションmiyaユース会議

子育て支援

- 地域の人の子育てを支援するまち
- 兄弟姉妹が同じ保育園に通えるまち
- みんなが結婚して子どもを産んで家庭をもちたいと思えるまち



安全・安心

- 子供が安心して登下校できるまち
- 誰もが安全安心に暮らせるまち
- 事故なく安心してずっと暮らせるまち
- 自転車に優しいまち
- 公園やお店などに、子供だけで安心して行けるようなまち
- 事故・事件が少なく、だれもが安心して暮らせるまち

The background features a collection of overlapping organic shapes in shades of blue, purple, and green. Some of these shapes are filled with patterns of small white teardrop-like dots or fine white lines. A central green banner with a ribbon-like fold effect contains the title text.

いただいた意見の活用

「イノベーションmiyaユース会議」からの提言について

「イノベーションmiyaユース会議」で皆さんからいただいた提言は、今年度、宇都宮市が改定を進めている子ども・子育て分野の総合的な計画である『第2次「宮っこ子育て・子育て応援プラン」（後期計画）』などに反映していきます。

《参考》「宮っこ子育て・子育て応援プラン」とは・・・

宇都宮市に住む子どもたちが心豊かで健やかに育つことができる社会や子育て家庭が安心して子どもを産み育てられる社会の実現を目指し、行政だけではなく家庭や学校、地域、企業などの取り組みの方針をまとめた計画です。

皆さんからの提言はこのような反映されました！（その1）

《子どもの権利》について いただいた提言

- 多様性を認め、差別をしないまち
- 子どもたちも子どもの権利について考えるまち

応援プランに反映したもの

- 子どもたち自身が子どもの権利について考え、理解し、差別や偏見のない社会で安心して過ごすことができるよう、「基本施策1：子どもの権利を尊重する環境づくり」に「**子どもの権利についての普及・啓発**」や「**人権啓発活動**」などを組み込んでいます。
- 多様性について正しく理解できるよう、同じく「基本施策1」に「**LGBTQに関する理解促進**」や「**性的マイノリティとされる児童生徒への対応**」などを組み込んでいます。

「イノベーションmiyaユース会議」からの提言について

皆さんからの提言はこのような反映されました！（その2－1）

《健全育成（遊び・学び）》
について
いただいた提言

- 子どもが天候に左右されずに遊べるまち
- 子どもが思いっきり遊べるまち
- 子どもたちがいきいきと過ごせるまち
- 小学生が気軽に勉強や自習をしに行けるまち
- 子どもが自由にのびのびと学習できるまち
- 学生と社会人の繋がりが広がっていくまち
- グローバルな最先端技術産業のあるまち
- すべての子どもが自分らしくいられる支援を受けられるまち

応援プランに反映したもの

- 子どもたちが気温や降雨などの気象状況に関わらず、安全・安心で楽しく遊んだり学んだり活動することができる場の充実に向け、「基本施策3：たくましい子どもの育ちと若者の自立」に「全天候型子どもの活動の場の充実」などを組み込んでいます。
- 同じく「基本施策3」に高校生を対象して様々な職種の講師を迎え、将来の選択肢を広げるきっかけを作る「高校生向けアントレプレナーシップ醸成事業」や様々な職業の体験ができる『職業体験事業「宮っこトライ」』などを組み込んでいます。
- 不登校の子どもなどすべての子どもが、成長段階に合わせた適切な支援が受けられるよう「第5章」の「1 子ども施策全般に係る課題への対応」において「地域における包括的な支援体制の構築・強化」について基本的な考え方を整理しました。また、「基本施策3」に「適応支援教室事業」や「青少年の総合相談」などを組み込んでいます。

「イノベーションmiyaユース会議」からの提言について

皆さんからの提言はこのような反映されました！（その2－2）

《健全育成（遊び・学び）》
について
いただいた提言

- 子どもが天候に左右されずに遊べるまち
- 子どもが思いっきり遊べるまち
- 子どもたちがいきいきと過ごせるまち
- 小学生が気軽に勉強や自習をしに行けるまち
- 子どもが自由にのびのびと学習できるまち
- 学生と社会人の繋がりが広がっていくまち
- グローバルな最先端技術産業のあるまち
- すべての子どもが自分らしくいられる支援を受けられるまち

その他の計画等に反映したもの

- **英語教育の更なる推進**については、本プランと連携している「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」の中で推進していきます。この計画では「英語教育・国際理解教育の充実」を重点施策として構成しています。
- **最先端技術産業のあるまち**については、「うつのみや産業振興ビジョン」の中で推進していきます。このビジョンでは「本市産業を発展させる新事業、成長産業の振興」を重点施策に位置付けており、今後とも**新技術・新製品開発、新分野進出の促進**などに取り組んでいきます。

「イノベーションmiyaユース会議」からの提言について

皆さんからの提言はどのように反映されました！（その3）

《子育て支援》 について いただいた提言

- 地域の人が子育てを支援するまち
- 兄弟姉妹が同じ保育園に通えるまち
- みんなが結婚して子どもを産んで家庭をもちたいと思えるまち

応援プランに反映したもの

- 地域社会全体で子どもや子育て家庭を支えていけるよう、「基本施策1：子どもの権利を尊重する環境づくり」に「**子どもの権利についての普及・啓発**」などを組み込んでおり、「宮っこを守り・育てる都市宣言」を推進し、具体的な行動につなげていきます。
- みんなが結婚して子どもを産んで家庭を持ちたいと思えるまちになっていくため、「第5章」の「1 子ども施策全般に係る課題への対応」において「少子化対策の推進」について基本的な考え方を整理しました。また、「基本施策5：結婚、妊娠・出産の希望をかなえる支援の充実」において、本市が安心して結婚・子育てできる環境であることを広く知ってもらう「**子育て環境プロモーション事業**」などを組み込んでいます。

「イノベーションmiyaユース会議」からの提言について

皆さんからの提言はどのように反映されました！（その3）

《子育て支援》 について いただいた提言

- 地域の人が子育てを支援するまち
- 兄弟姉妹が同じ保育園に通えるまち
- みんなが結婚して子どもを産んで家庭をもちたいと思えるまち

その他の計画等に反映したもの

- 本プランへの記載はありませんが、兄弟姉妹の保育園等入所への配慮としまして、入所選考における指数化の根拠となる「宇都宮市保育の実施選考基準」の見直しに取り組んでおり、令和3年度には「兄弟姉妹が入所している施設を希望する場合」の加点を、令和6年度には「兄弟姉妹や多胎児など2人以上の同時申込みの場合」の加点をそれぞれ強化するなど、兄弟姉妹が同じ保育園等に通える環境づくりに努めています。

反映できなかったものへの対応

- いわゆる「小1の壁」のひとつである「朝の子どもの居場所」については、今後、「ファミリーサポートセンター事業」や、「宮っ子ステーション事業（こどもの家事業）」、「子どもの居場所づくり事業」など、各事業の充実を図る中で、必要性を含め、検討していきます。

「イノベーションmiyaユース会議」からの提言について

皆さんからの提言はどのように反映されました！（その3）

《安全・安心》 について いただいた提言

- 子供が安心して登下校できるまち
- 誰もが安全安心に暮らせるまち
- 事故なく安心してずっと暮らせるまち
- 自転車に優しいまち
- 公園やお店などに、子供だけで安心して行けるようなまち
- 事故・事件が少なく、だれもが安心して暮らせるまち

応援プランに反映したもの

- 登下校時等の安全・安心の確保については、「基本施策10：地域全体で子どもや子育て家庭を支える支援」に「**通学路の交通安全対策**」や「**子どもの一斉見守り活動**」などを組み込んでいます。
- LRT（ライトライン）や自転車などの交通ルールや交通安全に関する周知・啓発については、同じく「基本施策10」に「**交通安全教室の開催**」などを組み込んでいます。

最後に・・・

協力してくれて
ありがとう



いただいた提言については、応援プランを構成する様々な事業に反映させていただきました。

なお、応援プランに反映されていない提言については、市役所内で共有し、今後どのようにすれば実現することが出来るか検討していきます。

また、今後、子どもを対象とした新しい施策を考える時には、皆さんの意見をしっかり聞いた上で、進めていきますので、その時はぜひ、ご協力ください。